

平成28年度第2回千葉県県土整備公共事業評価審議会審議結果一覧

No	所管課	事業名 路線又は箇所名等	事業概要	評価の理由	審議結果
1	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (道路事業) 一般国道464号北千葉道路Ⅰ期	北千葉道路Ⅰ期は、首都圏北部や県西地域と成田国際空港を結ぶ重要な幹線道路である。現道は幅員が狭小でカーブも多いことから、道路ネットワークの強化、安全性の向上、物流の効率化等を目的として、バイパス整備を行う。 ・総事業費 889億円(うち県施行区間440億円) ・事業期間 H17～H41 ・事業延長 9.8km(うち県施行区間4.2km)	②	継続
2	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (街路事業) 野田都市計画道路3・4・20号 今上木野崎線	今上木野崎線は、東葛飾北部地域の東西軸となる広域幹線道路である。鉄道とのアンダーパスを含む本路線を整備することによって、東西方向の道路ネットワークを強化するとともに、市街地交通の円滑化を図ることを目的として、バイパスの整備を行う。 ・総事業費 82億円 ・事業期間 H24～H30 ・事業延長 0.7km	②	継続
3	河川環境課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) 一級河川利根川水系手賀沼 河川環境整備	手賀沼は、千葉県の北西部に位置し、流域面積が144km ² の一級河川である。高度成長期における急激な都市化により大量の生活排水が流れ込み水質が悪化したことから、水質改善を図るため、河川環境整備を実施する。 ・総事業費 177.8億円 ・事業期間 H8～H42 ・事業内容 植生帯整備L=3.0km 等	②	継続
4	港湾課	防災・安全交付金 (港湾事業) 千葉港海岸(船橋地区) 高潮対策	千葉港海岸船橋地区は、背後地域にゼロメートル地帯を含む人口密集地を抱え、市役所や消防署などの官公庁やNTT、JR船橋駅などの公益事業施設を含む重要な地域となっている。高潮から人命・財産の防護を図るため、施設の整備を行う。 ・総事業費 272.2億円 ・事業期間 H8～H43 ・事業延長 約5km	②	継続

【評価の理由】

- ① 事前評価：事業の計画段階において、事業着手の必要性や妥当性を評価するもの。
- ② 再評価：事業採択後一定期間を経過した後も未着工である事業、事業採択後長期間が経過している事業の事業継続の必要性や妥当性を評価するもの。
- ③ 事後評価：事業完了後の事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置を検討するとともに、事業評価の結果を今後実施する同種事業の計画等に反映させるもの。